

2019年6月20日

SUBARU 2019年ニュルブルクリンク24時間レースに参戦

SUBARUのモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル*1は、2019年6月20日から23日にかけてドイツ・ラインラント＝プファルツ州アイフェル地方のニュルブルクリンクサーキットで開催される第47回ニュルブルクリンク24時間レースに、WRX STIをベースとする車両で参戦します。このチャレンジは、2008年以来今年で12年目となります。

SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019は、今年も2.0リットル以下のターボエンジン搭載車クラスである「SP3T」に参戦し、同クラスで6度目の優勝を目指します。

全長25km、高低差300mと起伏が激しく、天候も刻々と変化する世界一過酷と言われるコースで、「速く」かつ「意のままに操る」為に、水平対向エンジンとシンメトリカルAWDの基本レイアウトを活かしつつ、昨年からの性能を高めました。

【SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019 主な改良箇所】

- ・フリクション軽減によるエンジン性能の向上
- ・ローギヤ化とステップ比の見直し
- ・軽量クラッチの採用によるパワートレイン性能の向上
- ・ジオメトリの最適化による旋回性能の向上
- ・エアロパーツのアップデート、鮫肌塗装の採用により空力を向上

チーム総監督は、STIの辰己英治が担当。ドライバーは、カルロ・ヴァン・ダム(オランダ)、ティム・シュリック(ドイツ)、山内英輝(日本)、井口卓人(日本)の布陣で挑みます。

また今年も全国SUBARU販売店から選抜された8名のメカニックがチームに参加し、レースをサポートします。販売店メカニックの海外自動車レースへの参加は、メカニックの技術力向上により、お客様にカーライフの「安心と楽しさ」をお届けすることを目的に1990年より継続しています。これまでに369名(～2018年)のメカニックがサファリラリー、WRC*2(世界ラリー選手権)、ニュルブルクリンク24時間レースで活躍してきました。

*1:スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:平岡泰雄、東京都三鷹市、略称:STI)

*2:World Rally Championship



SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019

<SUBARU MOTORSPORT MAGAZINE NBR CHALLENGE 2019 オフィシャル web サイト>

<https://www.subaru-msm.com/2019/nbr/>

<ご参考>

「WRX STI」の商品情報については、『SUBARU「WRX STI/S4」改良モデルを発表』(ニュースリリース・2019年5月14日発行)をご確認ください。

https://www.subaru.co.jp/press/news/2019_05_14_7217/

【監督】



辰己英治

【ドライバー】



カルロ・ヴァン・ダム



ティム・シュリック

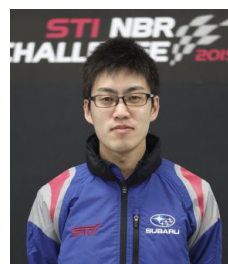


山内英輝

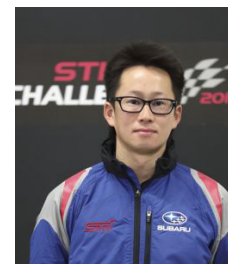


井口卓人

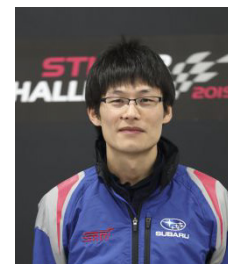
【SUBARU販売店メカニック】



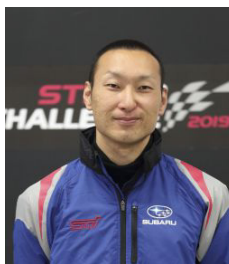
北海道スバル
高橋学希



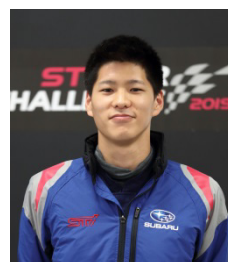
福島スバル自動車
浦山大介



北陸スバル自動車
上田佳孝



静岡スバル自動車
野澤佑介



名古屋スバル自動車
三木武士



大阪スバル
山川征俊



滋賀スバル自動車
伊室洋治



広島スバル
霜崎芳樹

【参戦車両】

車両名	SUBARU WRX STI NBR CHALLENGE 2019
全長	5,120mm
全幅	1,900mm
全高	1,395mm
ホイールベース	2,700mm
エンジン	EJ20 BOXER DOHC 16バルブ AVCS シングルスクロールターボ
排気量	1,994cc
最高出力	250kw(340PS) / 5,500rpm
最大トルク	461Nm(47kgf・m) / 3,000rpm
エアリストリクター	φ37
変速機	6速シーケンシャルギヤボックス+パドルシフト
クラッチ	小倉クラッチ製 メタルクアッドプレート
サスペンション	フロント：ストラット / リヤ：ダブルウィッシュボーン
ブレーキ	フロント :brembo 製 6ポット / リヤ :brembo 製 4ポット エンドレスパッド
ホイール	BBS 製 18 x 10J
タイヤ	FALKEN